



2026 年 10 月 2 日

各 位

会社名 ロート製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 瀬木英俊
(コード番号: 4527 東証プライム)
問合せ先 経営企画部 西脇純子
(TEL. 06-6758-8223)

「中長期成長戦略 2026」
～「ロートグループ 中長期成長戦略 2025～2035」のローリング更新
および 2031 年財務予測に関するお知らせ～

当社は、長期的かつ持続的な成長の実現に向けて策定しております「ロートグループ 中長期成長戦略 2025～2035」について、変化が激しく不確実な時代だからこそ、経営予測を定期的に見直し続けるローリング方式で中長期成長戦略を運用・更新し、あわせて 2031 年度を目標年度とする財務予測を設定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。各事業セグメントに掛かる戦略や経営方針の詳細については下記関連資料をご参照ください。

記

1. 策定の背景

当社は、中長期的経営ビジョンを示すことが重要な時代であるとの認識のもと、当社の目指す未来の方向性とその解像度を高めていただくことを目的とし、10 年先を見据えた中長期成長戦略のもと、持続的な成長を実現するための定量目標を設定しております。このたび、従来の 2030 年財務予測に対し、ローリングの考え方にに基づき対象期間を 2026 年～2031 年へ更新し、2031 年度の財務予測を新たに整理いたしました。

2. 中長期戦略の概要

ロートサイエンスを進化させ、セルフケアをコアにプロフェッショナルケアへ！
Well-being の輪を広げる未来を創造する

課 題	戦 略
事業収益力の強化	セルフケア事業のグローバル展開・新分野への拡大 ■アイケア・スキンケアの新価値を国内外へ展開 ■ヘアケア・フェムケアなどの新分野で地位確立
技術商品力の深化と拡充	Well-being なライフスタイルの提供 ■フィットサイエンス※の素材研究からサプリメント導入 ■内服・食品での胃腸ケア・予後ケア、EYS とのシナジー
メディカル事業の基盤構築	医療事業ファンデーション・ネットワークの確立 ■ケミカルからバイオ・細胞加工までの CDMO 拡大 ■眼科事業のグループ内連携、皮膚科向け化粧品 ■医療用眼科新薬・再生医療等医薬品の開発

3. 2031 年の財務目標

2031 年度において、売上高 4,640 億円、営業利益 598 億円、営業利益率 12.9%、海外売上比率 56%、配当性向 40%を目指してまいります。

また、当社は収益性の面では営業利益率 12%以上、効率性の面では ROE10%以上を確保し、「健全な財務体質」「成長投資」「株主還元向上」の同時実現を目指しております。

(ご参考) 2031 年財務予測 (ローリング後)

	2025 年度	2028 年度	2031 年度
売上高	3,437 億円	4,050 億円	4,640 億円
営業利益(率)	411 億円 (12.0%)	510 億円 (12.6%)	598 億円 (12.9%)
EBITDA マージン	17.0%	17.7%	18.1%
海外売上比率	51%	54%	56%
配当性向	30.4%	36%	40%

4. 従来の 2030 年財務予測との関係

従来公表していた中期経営目標では、2030 年度に売上高 4,150 億円、営業利益 540 億円、営業利益率 13%、EBITDA 18.2%を目指すとしておりました。今回のローリング更新では、2030 年度に売上高 4,440 億円、営業利益 568 億円、営業利益率 12.8%、EBITDA18.0%に修正し、さらに対象年度を 2031 年度へ見直し、売上高 4,640 億円、営業利益 598 億円、営業利益率 12.9%を新たな目標としております。

5. 株主還元に関する考え方

従来の方針として、株主還元については安定的かつ継続的な増配を行い、「健全な財務体質」「成長投資」「株主還元向上」の同時実現を進めるとしております。また、2030 年財務予測では、配当性向 30%以上、DOE3.5%以上を前提に、安定的な累進拡充を目指す方針を示しておりました。今回のローリング後の目標では、2031 年度の配当性向は 40%、DOE4.0%以上を目標としております。

6. 今後の方針

当社は今後も、企業価値向上に向けて、中長期事業戦略をローリング方式で継続的に見直してまいります。なお、本件の詳細については、下記関連資料をご参照ください。

※フィットサイエンス：ロート製薬が目指す、地域の自然素材や技術を生かした健康産業の発展と社会課題の解決を目指す新たな事業戦略の 1 つです。自然界に存在する素材の活性や機能（フィットパワー）に着目し、最先端のサイエンスで解き明かすことで、フィットパワーの価値や可能性を拡げ、持続可能な社会づくりを目指します。

●関連資料

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS09061/57b6fc79/3ea2/4ecb/b29f/c11f12176378/20261001161258202s.pdf>

以上